

事業実績書

1 事業名 「繊維のチカラで繋げ。持続可能なモノづくり」

2 実施期間 令和3年4月23日～令和4年3月18日

3 事業内容

①事業の目的・概要

「繊維の産地 備中」の知名度を上げるとともに、繊維産業の活性化と持続可能なモノづくりの社会を実現することを目的として、次の事業を行う。

1) 商品開発

繊維関連製品の生産過程で出る多くの廃材・廃棄を有効活用した製品を産学が連携して開発する。

2) 産業観光の構築

体験を取り入れた産業観光プログラムを開発し、交流人口や観光消費の増加につなげる。

3) 人材育成

ファッションビジネスで活用できる理論を理解し、特色ある地域の新たなモノづくりを創出するプロデュース能力を養う。

4) 成果品の展示、PR活動

商品開発の成果を消費者に見てもらい、「繊維の産地 備中」をPRする。

②事業の流れ等

1) 商品開発

備中エリアの名産であるデニムや帆布、畳縁等の生産や縫製の過程では、大量の廃棄がなされている。これらを有効活用し、新たな価値を持った製品として再生させることに取り組んでいる企業と地域課題の解決に取り組む高校・大学が連携し、新たな繊維製品の開発に取り組んだ。

高田織物(株)・タケヤリ	×	倉敷芸術科学大学
241Co.・倉敷製帽(株)	×	倉敷芸術科学大学
クロキ(株)・高田織物(株)	×	井原高等学校
タケヤリ・高田織物(株)	×	倉敷中央高等学校
ベリズファクトリー	×	玉島商業高等学校
(株)ショーワ	×	美東
今吉商店	×	岡山県立大学デザイン学部

高校・大学生は企業から提供された残布や残反を活用した商品をデザインし、出来上がったデザイン画を元に企業は試作品を製作し、製品化に向けた検討を行う

た。

新たな価値観を創造する取り組みとして、布以外の製品（木製品）をインディゴで染めたり、いぐさを天然素材で染める研究も行った。

2) 産業観光の構築

交流人口の増加など地域経済へも大きな効果を生む産業観光に前向きな企業3社と、産業観光のプログラム開発に取り組んだ。企業を訪れてもらうことにより、企業や自社製品をPRしたり、新たな販路（顧客）開拓につなげることを目的に、ターゲット設定、扱っているもののどの部分を体験として提供できるのか、また、受入れに当たっての施設整備や人員配置等を検討した。プログラム作成に当たっては、旅行業者2社による企業訪問を行い（12月7日）、旅行業者の意見を反映させながら内容をブラッシュアップさせていった。プログラムに対する消費者の意見を聞くため、モニターツアー（1月27日）を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。

3) 人材育成

(i) 繊維の地域プロデューサー養成講座（オンライン、2回） 添付チラシ参照

講師：9/25(土) デスティニー経営事務所代表 藤沢直武氏

10/2(土) ㈱クリスタルロード代表取締役 加藤路瑛氏

対象：一般、繊維関連企業従事者等

目的：既成概念に捉われない新しい考え方を身に着ける

事例から自社でイノベーションのおこし方を学ぶ

事例からどういった考え方や分析をしたことがイノベーションにつながったかの考察を受講者同士で話し合い、理解を深める

(ii) 高校連携授業（3回）

講師：6/24(木) ベリズファクトリー代表 田中洋之氏

7/15(木)、1/20(水) with FASHION co. 代表 正宗幸子氏

対象：高校生（玉島商業高校、井原高校、倉敷中央高校）

目的：繊維産業の理解を深める

4) 成果品の展示、PR活動

(i) 試作品の展示発表会

日 時	会 場	備 考
令和3年12月6日～10日	倉敷芸術科学大学	
令和3年12月12日～19日	イコットニコット	12日：プレゼンテーション *添付チラシ参照
令和4年1月20日～26日	倉敷中央高校	
令和4年2月6日[中止]	倉敷芸文館	備中伝統芸能フェスティバル会場

(ii) チラシ、ポスター等によるPR

県内の繊維関連企業や繊維団体・組合、備中エリアの自治体（商工観光系部所）等へ配布し、展示発表会をPRした。また、RSKラジオに出演し事業について周知を図った。

③成果・効果

1) 商品開発

		試作品
高田織物(株) タケヤリ	× 倉敷芸術科学大学	ティッシュケース、チケットホルダー、ブックカバー、ドアノブポケット
241Co. 倉敷製帽(株)	× 倉敷芸術科学大学	首輪、コースターデコレーションキット、ペット用ラグ、キャップ、ハット
クロキ(株) 高田織物(株)	× 井原高等学校	ティッシュボックスカバー、マスクケース、ブックカバー
タケヤリ 高田織物(株)	× 倉敷中央高等学校	小物入れ、トートバック、髪飾り、ランチョンマット、ベルト、エプロン
ベリズ ファクトリー	× 玉島商業高等学校	ブックカバー、がま口ポシェット、ペットボトルホルダー、パスケース、ティッシュケース
(株)ショーワ	× 美東	インディゴ染めの研究
今吉商店	× 岡山県立大学 デザイン学部	染め方の研究 いぐさ製品リデザイン

学生の延べ150のデザインから26点が試作品にできたが、商品化できるものはなかった。企業からは、デザインを形にしていく工程でどれだけ手間がかかるか（工数がかかるか）という点の理解不足を指摘された。

2) 産業観光の構築

今回取り組んだ3社それぞれの目的やターゲット等を以下とし、受入れに当たっての施設整備や人員配置等についても検討、プログラムを完成させた。

	ターゲット・目的等	プログラム
倉敷製帽(株)	・ビジネスに直結する取引先や新規顧客等への説明、企業姿勢や自社製品のPRの場として活用 ・観光客に実際の現場を見せることにより、企業理解を深め、自社製品のファンを増やす	工場見学
おのはなこ 商店	幅広い来訪者を受入れ、産地としてのPRや産地ブランドの継続を目的とする	モノづくり体験
241Co.	幅広い来訪者を受入れ、商品や企業のPR、また、産地としてのPRや産地ブランドの継続を目的とする	残布等を利用した モノづくり体験

3) 人材育成

- (i) 繊維の地域プロデューサー養成講座（2回） 56名受講
- (ii) 高校連携授業（3校） 126名受講

4) 成果品の展示、PR 活動

チラシ配布、ポスター掲示に加えて、プレス発表、ラジオ放送による告知等を行ったことで、山陽新聞が取り上げ、本事業を広く知ってもらうことができた。

④今後の課題・展開等

この事業を通じて商品開発は一朝一夕でできないことが分かった。今回連携した高校・大学でも、すでに企業等の協力を得て繊維産業に関連した教育プログラム等が実施されていたが、それらは、あくまで基礎的な技術や技能の修得であり、商品開発に直結させる難しさを感じた。つまり、就職後に学校で学んだ技術や技能をどのように生かすことができるかが課題であり、この部分の解決ができなかったことが今回商品化に至らなかった理由の一つと考えている。

しかしながら、参加学生からは「ファッションに興味がある」「オリジナルブランドを立ち上げたい」「自分のアイデアを形にしたい」「デニムが好き」といった声が聞かれ、潜在的に繊維産業に携わりたいという希望があることが確かめられたことから、引き続き企業との連携を深め、インターンシップの導入等、実践的な教育プログラムを提案する等、次世代の繊維産業を担う人材育成に注力していきたい。

産業観光については、企業によって様々な目的や考え方があるため、ひとくくりにはできないが、企業にとっての目的やターゲットを明確にすることが産業観光を始めるにあたり最も重要であると考えている。今後は新たに産業観光に参画を希望する企業を発掘するとともに、高校・大学と連携しながらプログラムを構築・実現していきたい。

また、機会を逸することなく、これらの取組をPRしていきたい。

⑤県民局と協働した効果及び課題

今年の事業は法人にとって初めての大きな企画であり、県民局からは事業開始から経過も含めて常に全体の流れを把握するようにとアドバイスをいただいた。

また、予算の執行についても常に適切なチェックをしていただき、事務管理が適正に進むようにご指導いただいた。

広告・PRという点では、様々なメディアや広範囲に告知する活動を支援していただき、多方面から多くの反響をいただいた。

大学との研究連携については、県民局のネットワークを生かし実現し、新素材を発表することができた。

4 参考事項・資料

写真

チラシ

日程変更計画表

年月	事業内容	場所	規模等
～R3.6	キックオフミーティング	倉敷芸術科学大学ほか (Web参加含む)	8企業 3高校・2大学
R3.7	[人材育成]		
R3.9.25	企業対象セミナー(1回目) -繊維の地域プロデューサー養成講座(1回目)-	ZOOM	28名
R3.6.24	高校連携授業	玉島商業高校	3年生 22名
R3.7.15	高校連携授業	井原高校	1,2年生 27名
R4.1.20	高校連携授業	倉敷中央高校	1年生 77名
	[産業観光]		
R3.12.7	モニターツアー下見	おのはなこ商店 241Co. 倉敷制帽	旅行会社2社
R3.9	[商品開発]		
	中間報告会、審査会 内見会(1回目)-		
R3.6～	開発アドバイス	各企業・高校・大学	
	[人材育成]		
R3.10.2	企業対象セミナー(2回目) -繊維の地域プロデューサー養成講座(2回目)-	ZOOM	28名
	[産業観光]		
	中間報告会 開発アドバイス	各企業	3社
R3.11	[産業観光]		
R4.1.27	モニターツアー(中止)		
R3.12	[商品開発]		
	内見会(1回目)-		
R3.12.12	プレゼンテーション 展示会(～12/19)	イコットニコット イコットニコット	
R4.1.20	展示会(～1/26)	倉敷中央高校	

＜記入上の注意事項＞

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください(例:〇〇市文化センター、△△市内)。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。
- 4 変更部分を朱書き又はアンダーラインにより、変更前後が対照できるように記入してください。

参考資料(写真)

1. 高校連携授業（県立玉島商業高等学校） R3. 6. 24



2. 試作品展示発表会（岡山駅前 イコットニコット） R3. 12. 12~12. 19

■ 展 示



■ プレゼンテーション



◇試作品

高田織物(株)・タケヤリ × 倉敷芸術科学大学

ティッシュケース	チケットホルダー	ブックカバー
		
<p>ドアノブポケット</p>		
		

241Co.・倉敷製帽(株) × 倉敷芸術科学大学

首輪	コースターデコレーションキット	ペット用ラグ
		
<p>キャップ</p>	<p>ハット</p>	
		

クロキ(株)・高田織物(株) × 井原高校

ティッシュボックスカバー	マスクケース	ブックカバー
		

タケヤリ・高田織物(株) × 倉敷中央高校

小物入れ	トートバック	トートバック
		
髪飾り	ランチョンマット	ベルト・エプロン
		

ベリズファクトリー × 玉島商業高校

ブックカバー	ブックカバー	ブックカバー
		
がま口ポシェット	ペットボトルホルダー	パスケース
		
ティッシュケース	トートバック	
		

ショーワ × 美東

インディゴ染め



今吉商店 × 岡山県立大学デザイン学部

染め方の研究

